



Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundation

◆URL <http://www.jaiti.org/> ◆E-MAIL [jaiti@janis.or.jp](mailto:jaiti@janis.or.jp)

JAITIとは、「公益財団法人日本農業研修場協力団」の英文、Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundationの頭文字の略で「ジャイチ」と呼びます。1989年、農業を生活基盤とする、開発途上国の農村地域社会の人々が、「生きる根幹」の食料を安定確保することで、生活の中に基礎的な教育と公衆衛生に目を向けるゆとりを持ち、健康で、自立心豊かな地球上の「友」になることを願って、活動が展開されています。

発 行 公益財団法人 日本農業研修場協力団  
事 務 所 〒386-0502 長野県上田市武石沖605-5  
TEL 0268-85-3465 FAX 0268-85-3583

# 今日のジャイチ

昨年、ネパールでは、春先に王権支持派と反対派の衝突による大規模なデモによる死傷事件や教職員によるストライキが続行されるなど、現政権への政治不信が高まりを見せていましたが、9月に至り、更に大きな事件が発生しました。

現地の情報によると、政府が主要なSNSを規制したことから学生・若者らが中心となって数千人に上る抗議デモに発展し、政府庁舎、警察署、富裕層が所有するビルやデパートなどが放火されるなどして、一時は外出禁止令が出される事態もあったとのこと。

政府への批判を抑える手段を視野にとった措置と思われるものの、主要産業とも称される海外で働くネパールの人々にとって自国の家族たちとの連絡手段として果たすSNSを断ち切られることへの反発と、政治家の汚職やその家族の裕福な生活格差の不满が若者たちを行動に駆り立たせよう。

11月にツアーを予定していた当団では、状況の推移を見守っていましたが、幸い、短時間で騒ぎは収まったとのこととで安堵しましたが、現政権に代わって暫定政府が体制の立て直しに動き始めているものの、汚職の根絶や経済改革

など政治不信、経済的不満が改善され、安心できるネパールであって欲しいものです。



▶カトマンズ市街で時々行われる集会やバンダ(デモ行進)

## ◆学校の様子

7月中旬からおおよそ1カ月の夏休みに始まり、9月10月にはダサイン、ティハルなどのネパールの大きなお祭りが続いて催されることから、この時期は学校行事も少ない状況でした。

この間、通常の授業は行われませんが、夏休みには7年生から10年生の高学年の生徒たちを対象に追加指導による学力強化のための授業が行われ、SEEの追試験に臨み、ブライター学校では、当初の合格率15%から38%の結果でした。

また、他地域の学校との間で研修活動の開発と教育環境の整備を目的とした共同プロ

ジェクトの構築により、生徒と教師を対象とした能力開発を目指すことなどの協議が進められています。

バシフアント学校・ブライター学校ともに今年度の入学生徒数は減少傾向にあります。若年層の都市部への流出により農村部の子ども数が減りつつあること、学力を高めるために都市部の学校への通学を選択しているなどが考えられるとのこと。

少子化に加えて社会インフラの変化に対応した学校運営について、学校、保護者ともに努力を重ねています。

しかしながら、政府からの支援も限られているため、更なる提案、支援が望まれています。



▶校舎・教室など建築から年数が経ち改修を必要とする箇所が目立ってきているものの財政的に厳しい状況が続いている。(写真はカカニ・ブライター学校の屋根)

## ◆理事会の開催

定款の定めるところに従い、理事長・常務理事の上半期の業務執行状況の報告について12月14日に理事会を開催しました。

会議では、通常業務の報告のほか、ネパール事務所解散に伴う今後の当団の組織のあり方等について、支援活動を存続していくことにしています。当初のネパール事業は概ね終結の域に達してきていることから、現行の役員体制と事務局の見直しについて引き続き検討を行い、今後の理事会、評議員会で協議・決定していくこととしました。

また、今後のネパールとの連携を保つていくための窓口として、これまでも誠意をもって当団との連絡調整を図っていたジャイチネパール元事務所員のシュリー・バハドル・K C氏に引き続き担当してもらうことにしています。



▶ネパール語は勿論のこと、英語、日本語にも堪能で、誠実なシュリー・バハドル・K C氏



▶目まぐるしく変わる世界情勢の中で、未来を担う子どもたちがどのようなネパールを作り上げてくれるのか。自国を愛し、大らかな気持ちを忘れずに逞しく育って欲しいものです。 カカニにて

# ネパールからの報告



## レカリ・バシファント校 学生寮で学力向上を

設備を完備した学生寮で  
昨秋11月から8年生から10  
年生の補習授業を開始しま  
した。

当校の学生寮は、在ネ  
パール日本大使館の支援に  
より建設した女子専用の寮と  
別の建物にある男子寮で、現  
在、寮長と共に36名の生徒が  
寮に滞在しています。

昨年度のS.E.E.やその他  
の授業の成果が良好であつ  
たことで、更に学習の成果  
を期待しており、保護者や  
生徒からは、寮施設を管理  
し、始業前と放課後に追加

授業を義務化することに対  
して称賛の声が上がってい  
ます。

これにより、生徒は主要  
教科の教師と一緒に学習活  
動に参加でき、また、自由  
時間にはスポーツやゲーム  
を楽しむことができます。

私たちのモットーは、来  
るS.E.E.試験と8年生の市  
町村レベルの試験におい  
て、本校が必ずや記憶に残  
る素晴らしい成績を収める  
ことを決意していることで  
す。

学業成績の向上のために  
は、寮生にとってこのような  
活動が非常に重要です。生徒  
たちはサッカーやバレーボー  
ルなどの課外授業にも参加



▲高学年の学力向上のため、在ネパール日本大使館の支援によって  
建てられた学生寮で、生活を共にしながら自分の将来の夢に向かっ  
て勉学に、また、仲間との絆を深めています。



▶必要に応じてグラウンドで全体集会

し、共学で学び、相互に理解  
を深める教育システムと連携  
したインターネット授業の設  
備を活用した学習教材も利用  
しています。



▶新調なった寮の6人部屋でお互いを  
尊重しながら勉強に励む女子生徒  
たち

レカリ・バシファント学校  
の生徒たちが、質の高い教育  
を受けることで理想的な市民  
となり、母校であるジャイチ  
の栄光をもたせさせてくれるこ  
とを願っています。

この試験の合格者には「愛  
の証」が贈られました。  
また、優秀な成績と年間休  
暇日数が少なかった2名の教  
師にも表彰状の授与があり、  
保護者にも表彰を行いました。  
た。

●**ゲームやクイズコンテスト**  
主要科目の授業のほかに生  
徒たちの思考力を養うととも  
に、生徒同士がいろいろの問  
題解決に協力し合って取り組  
み連帯感を育むことを目指し  
て、ゲームやクイズ大会を  
行っています。

快晴の天気にも恵まれた11  
月、グラウンドに生徒たちが  
集合しクイズやゲームに挑戦  
して楽しい時間を過ごしまし  
た。



▲別棟にある男子寮で学び合う男子生徒たち

(校長：ラル・ラル・マンダ)

## カカニ・ブライター学校 多彩な学校行事

### ●成績優秀者を表彰

夏期休暇、祭り休暇が終了  
し、学校では通常の授業が始  
まりました。

9月に発表されたS.E.E.試  
験の合格発表の結果を受け  
て、10月に成績優秀者の表彰  
式を行いました。

### ●理想を体験

ネパールの所々で行われて  
いる理想ですが、本校でも8  
年生から10年生を対象にカカ  
ニの地区にある理想センター  
で一日体験を行いました。

これは、生徒が勉強に集中  
するの役に立つことを目的と  
しており、精神の安定化にも  
繋がるものとして取り入れて  
います。

### 支援者皆様からのご協力

生徒たちをわが子のように  
思い深い愛情をもって育て  
たいという支援者の皆様に  
学校を代表して感謝と敬意を  
表します。

### ☆滝グループ (滝和美様他)

- ・ 校庭フェンスの修復
- ・ トイレの修繕及び塗装
- ・ 破損した窓ガラスの修理
- ・ 幼稚クラスへ遊具の提供等  
の財政的支援

### ☆鎌倉恵子様

- ・ 絵本や物語の本
- ・ 各種文房具
- ・ ほか財政的支援

### ☆当団 (ジャイチ)

- ・ 校舎の塗装や修繕ほか維持  
管理のための財政支援

引き続きご支援をお願い  
します。

(校長：ラメル・アディカリ)



▶教室を離れて校庭でクイズ大会。  
この日は、日本の支援者の訪問も  
あり、生徒たちに向けて励ましの  
言葉をいただきました。



# 第24回JITIツアーに参加しました！

2025年11月3日から10日に実施しました「ネパールの学校訪問の旅」に参加された皆さんから感想文が寄せられました。



▲私たちが支援を続けているネパールの学校では訪問の都度、心から歓迎の意を表してくれます。今回も、校門でのお出迎え、生徒による民族舞踊の披露など楽しい時間を過ごさせてもらいました。レカリ・バシファント学校にて

ネパールの学校を訪ねて  
滋賀県大津市  
市橋 宏

このたび、ジャイチが企画したネパールの学校訪問のツアーに参加する機会を得ました。

総勢10名という少人数の旅は、参加者同士の交流も深まり、心に残る旅となりました。

まず、レカリ・バシファント学校とカカニ・ブライター学校の二つの学校を訪問し、授業の様子を見学しました。このツアーは全行程チャーターバスでの移動でありがたいことでした。

カトマンズから未舗装の山路を車に揺られてバシファント学校に到着すると全校の児

童が二列に整列をして私たち全員にマリーゴールドのレイを用意して迎えてくれました。

純真に輝く子どもたちの瞳が美しく、一時間近く前から待つてくれていたと聞いて感激のあまり涙ぐんだのは私だけではなかったと思います。



▶学校を挙げてツアー訪問者をマリーゴールドの首飾りで大歓迎

校舎はレンガとコンクリートで造られた平屋で、日本の学校と比べると質素でみすぼらしい印象を受けました。しかし、そこで学ぶ子どもたちの眼差しは驚くほど輝いており、学ぶ喜びに満ちていました。教師も熱心に指導しており、教育への情熱が伝わってきました。

物質的な豊かさでは測れない「教育の力」を目の当たりにし、教育の本質について改めて考えさせられました。ツアーには観光も組み込まれており、ヒマラヤ山脈の遊

覧飛行ではエベレストをはじめ雄大な山々の姿に圧倒されました。雪をいたたく峰々が連なる光景は、自然の偉大さをいやがうえにも実感させられるものでした。

また、カトマンズ市内にある世界遺産の寺院も訪れました。スワヤンブナート寺院では私もマニ車を回して平安を祈り、バジュバティナート寺院ではバグマティ川の対岸で茶毘に付する光景に驚嘆しました。遺灰は川に流され聖なるガンジス川に流れていくと聞きました。

宗教的な死生観に触れる貴重な体験となりました。



▶今も川べりに火葬の煙が立ち上るバジュバティナート寺院

11月3日から10日までの旅程は天候にも恵まれ、快適に過ごすことができました。

短い期間ではありましたが、教育現場の実情と観光を通じて、ネパールの人々の日常生活や信仰心、文化に触れ

ることでネパールを多角的に知ることができたことは大きな収穫でした。このツアーに参加できたことに心から感謝します。



(※ありがとうの意)

テレテレ  
ダンネバード  
滋賀県大津市  
濱田 直也  
美智代

今回幸運にも妻の水泳仲間の方からネパール訪問の話しを聞き、妻と一緒に参加することになりました。

ネパールは世界の屋根ヒマラヤのある国です。行けばエベレストが展望でき観光飛行で間近に見られるかもと胸がワクワクしました。

訪れる目的は、ネパールの山岳地域の学校訪問が主であり、また、子どもたちの学習の環境現場と雰囲気などのよさうなのか、日本からの支援は

どうなっているのか興味が出てきました。首都カトマンズでは主に日本人が宿泊するホテルに泊まり、小型バスで山岳地域の学校に幼い子どもたちの通学状態を拝見させていただき、通学ルートが山の中を上へ下へと縦走するという厳しい状況を目の当たりにして大変驚きました。



▶山中に広がるバシファント学校

学校そのものは簡素なもので、これが現実なんだと思えました。勉強については子どもたちの目は輝き、挨拶や言葉のやりとりにも人として学ぶべきことを取得し成長しているなど、先生方の協力・努力の実りを感じました。

訪れた学校では、小中高校レベルを主に勉学と人として身に着けるべき正しい判断力や行動意欲が理解できました。これらの教育システムに正しく関与し子どもたちをあ

るべき正しい教育目標に向かわせていることに気持ちが良いくなりました。

何と云っても子どもはその国の宝です。国の未来を築く基礎です。学校教育が正しく出来るかどうかでその国の未来が変わってしまいます。今、このネパールで行われている初等教育、特に山岳地域を含めた地方の学校での教育の進行度合が重要となります。



今回は、ヒマラヤ山脈の近くということで、ホテルのテラスからの遠望や遊覧飛行で実際エベレストのすぐ近くまで飛んで行き、真近に見ることができて貴重な経験をする事ができました。

発展途上国の状況に関して、もし再度ネパールを訪れる機会があれば参加し、その後のこの国の子どもたちの教育と農民の生活のレベルアップが感じられることを確認したいと思います。また訪れたいです。

### 2025JAITIツアーの行程

- 11/3 成田空港からカトマンズへ
- 11/4 レカリ・バシファント学校訪問  
歓迎行事に参加
- 11/5 レカリ・バシファント学校にて  
各教室で授業の様子を参観  
地区の農家訪問
- 11/6 マウンテンフライトでヒマラヤ  
山脈エベレストなど眺望  
世界遺産バクタブル見学
- 11/7 カカニ・ブライター学校訪問  
歓迎行事に参加
- 11/8 カカニ地区イチゴ栽培農家訪問
- 11/9 カトマンズ市内世界遺産見学
- 11/10 カトマンズから成田空港へ

**思い出の詰まった  
ネパール旅行**  
滋賀県大津市  
市橋 康子

事務局から送っていた写真の手に旅を振り返っています。

▶早朝、マウンテンフライトでエベレスト目指して、いざ出発。雲一つない上天気にも高鳴っています。



▶イチゴ栽培農家の案内で畑を見学

ルやご家族の写真も届いていました。彼女との再会のためにご尽力いただきました皆さんに感謝しております。



▶現在はベルギーに居住している里子と携帯電話を通して面会

20年来「行つてみたい」と思い続けてきましたネパールは素朴で信仰心厚い国でした。

今日の世の中、いかにたくさんのお金を手に入れるかで多くの人が奔走し、人を欺いたり騙したりします。ネパールの高地に住む人々は悪条件の下、無いものねだりをせず自身の手、足、頭を使って食糧を得ていました。食糧自給率が30数パーセントで輸入に頼っている日本とは大きく違います。

移動手段は徒歩が中心。バシファント学校の校長先生が私たちを迎えるために歩いた距離に驚きました。先生方も教育熱心で生徒たちも瞳を輝

かせて学んでいる姿に感動いたしました。幼稚園でもアルファベットを書いていて、ネパールの方々の英語力の基礎は幼児から始まっています。

旅行中、どこの家の前にもマリーゴールドが咲いていました、トタン屋根の粗末な家の前には肥料が入っていたような厚手のビニール袋でマリーゴールドが美しく咲き誇っていました。

花を愛する人は心清き人・・・とてもやさしい気持ちになりました。

旅のハイライト、マウンテンフライトの真つ青な空、静寂と山々の気高さは、この世のものとは思えませんでした。一生忘れられません。

数々の貴重な思い出をありがとうございました。



▶レカリ校の低学年の生徒たちと一緒にネパールの数字の読み方を先生から教えてもらいました。

### 事務局から

今回のツアーに際し、市橋様から参加の目的に、出来ることなら里子と面会したいとの要望がありました。

ジャイチでは、事務所では、事務所で保管している里親事業の書類を確認したところ、市橋様は二〇〇二年からドーマ・シエルバさん(当時6歳)の学費などを二〇〇七年に卒業するまでの五年間に亘って支援していた、大きな思い出がありました。

その後は、手紙などで連絡を取り合ったこともあったようですが、直接ドーマさんと顔を合わせる機会はありませんでした。

事務局では、早速、ネパールの元事務局員を通じてドーマさんの消息を調べてもらったところ、ベルギーに行っていることが判明し、面会の目的は果たせないと思われました。

ところが、カカニを訪問した市橋様を待ち受けていたのは、地元カカニの人々の懸命な協力もあり、携帯電話越しではありましたが、今はベルギーにいるドーマさんとの面会を現実のものとしてくれました。

ネパールの人たちの思いやりと温かさに触れたひとときでもありました。

2025年7月1日～2025年12月31日迄

順不同敬称略

# ご協力有難うございました

この六ヶ月の間に、左記の方々より、ご支援を戴きました。お礼申し上げます。

## ◆ 人的協力

- 〔栃木県〕 マン・パハドール・シユレスタ
- 〔群馬県〕 齊藤孝夫、島田紘子、島田寛治、島田昌俊
- 〔東京都〕 鎌倉恵子、滝和美
- 〔山梨県〕 大庭仁美
- 〔長野県〕 菊池健介、株式会社北澤土建
- 〔北海道〕 齊藤一美、田村由紀子、田村佳織、根岸厚次・真貴子
- 〔愛知県〕 小園四男
- 〔滋賀県〕 市橋宏・康子、濱田直也・美智代
- 〔海外〕 ネパール シュリー・パハドール・ケーシー、ラクパシエルバ、ギャルゼンシエルバ、ホテルサンセットビューアルジュン、シン・トラチャン

## ◆ 寄附金

- 〔北海道〕 内藤喜美子
- 〔茨城県〕 伊藤甫
- 〔栃木県〕 森聖哉
- 〔群馬県〕 齊藤孝夫、島田寛治、島田昌俊、土屋邦夫、堀越利通
- 〔埼玉県〕 小野美津男、加藤美恵子、齊藤節子、鈴木吉人、常陸民生、芳澤竹男
- 〔千葉県〕 足立雄一・直子、相樂洋子、武藤貴子、吉村芳江
- 〔東京都〕 今井正史、大田原房子、小川昌子、鎌田はなよ、河野節子、小池敏雄、神長善次、須田清、滝和美、西岡巖、野村明賢
- 〔神奈川県〕 荒木真一・利枝、石井清、江崎正義、松本素子、丸山進治・佳子、(山梨県) 大庭仁美
- 〔長野県〕 安藤通男、池田佐代子、小山田秀士、金澤みち代、金子元昭、菊池健介、北澤隆洋、北原千歳、久保田寛人、K・T、五味あつ美、齊藤一美、滝沢眞理、竹内邦義、武内美栄子、田村由紀子、中澤知史、株式会社社長門牧場、中村彰、名倉慶子、箱山年子、羽田文子、堀邦昌、松久よし子、丸山敏和、宮下篤、宮下静子、柳澤利文、依田五子
- 〔新潟県〕 小森修
- 〔石川県〕 佐々木真理
- 〔岐阜県〕 庄村敏
- 〔愛知県〕 伊藤多地子、岡本守弘、尾上昇、片岡日出夫、依田惇
- 〔滋賀県〕 市橋宏・康子、岡田千尋、西村敏、濱田直也・美智代、松延宏昭
- 〔兵庫県〕 小野道彦、新海泉、谷川昌平
- 〔和歌山県〕 中前孝啓
- 〔鹿児島県〕 西重正博
- 〔ネパールへ直接〕 鎌倉恵子、菊池健介、小園四男、齊藤孝夫、滝和美
- 〔福島県〕 島山悦子
- 〔群馬県〕 小坂橋靖幸
- 〔千葉県〕 佐瀬萬亀、久米知恵子、小宮芳子・ご友人
- 〔神奈川県〕 堀内フサ子
- 〔長野県〕 井沢永美、菊池健介・道子、田村由紀子
- 〔滋賀県〕 市橋康子、玉田盛一

## ◆ 寄附品

「草を集めに行く少女」 絵 マン



## ご寄附のお願い

ジャイチの活動を何時も心に留めて下さり、感謝申し上げます。皆様方からのご寄附に対し、所得税法・法人税法上の優遇措置を受けることができます。以下に説明致しますので、今後ともご協力をお願い申し上げます。

### ジャイチの基本的財源として

皆様よりいただいた寄附金を、ジャイチの公益活動を維持・継続していくための財源として、受け入れるものです。寄附金の用途・内容については、ホームページ記載の決算書等により、皆様にお知らせ致します。その中より余剰資金が発生した場合は、今までどおり基金として繰り入れていきます。基金は、ジャイチの財源を安定させ、ジャイチの活動をよりいっそう強固な活動につなげることが出来ます。

### 所得税法、法人税法の優遇措置

公益財団法人は、すべて税制上の特定公益増進法人となり、寄附していただいた金額は、下記の寄附金優遇措置の対象となります。

- ①所得控除 その年中に支出した寄附金の合計額より2千円を差し引いた金額が総所得金額等、退職、所得金額又は山林所得金額より控除できます。
  - ②税額控除 その年中に支出した寄附金の合計額より2千円を差し引いた金額の40%が所得税額から控除されます。(例 10,000円の寄附の場合 所得税が3,200円戻ります。)
- 上記優遇措置を受けるには基本、確定申告が必要です。(税法の改正等がありますので、詳細は税務署にお問い合わせください。)**

### 郵便振替・銀行振込での募金

- お振込先
  - ◎郵便振替 00510-4-65434
  - ◎銀行振込 八十二銀行 丸子支店 (普)420577
  - 座名 公益財団法人 日本農業研修場協力団

# あれから10年

当機関紙50号が発行された二〇一六年の前年はネパールに大きな被害をもたらしたマグニチュード七・八といわれる大地震が発生した年でした。

発生当時は脆弱な建物や家屋が損壊し九千人近い死者を出し、その復旧には相当の年月がかかることが想定されました。

今回70号の発行は、あれから10年が経ったことになりました。

この10年、海外からの支援もあってか、寺院や旧王朝建造物などの世界遺産の修復も被害を感じさせないまでに進み、道路・河川環境の整備や特にネパールの空の玄関口であるカトマンズの空港ターミ

ナルは大きな変貌を遂げつつあり、一頃の薄暗かったロビーも明るく清潔なスペースになるなど、様々な場所復興の姿を感じさせてくれます。

農山村部でも、一部には改修やむなく放棄された家屋があるものの、鮮やかに彩色された新築住宅が多く見られるようになりました。従来の簡易な建物から耐震化を考慮して構築されていくものと思われ

一方、有りがち「喉元過ぎれば熱さ忘れる」とおり、地震に対する備えや心構えは時と共にすり減っていることを否めません。

その後には、世界を席巻したコロナ禍は、渡航自粛や外出禁止などでネパールの観光にも大きな影響を及ぼすこ



▲雨の後、空気が澄んで久しぶりにカトマンズ市街地から望むことができたヒマラヤの山並み。道路は拡張工事が進み植栽も行われて環境が変わりつつある。(ネパール事務所提供)

## 事務局だより

### ◆ジャイチ

- 7月
  - ・機関紙69号発送
  - ・国際交流フェスティバル丸子に参加
  - ・活動紹介、バザー、民族衣装試着体験など
  - ・今後の運営方針の検討
- 8月
  - ・第24回ジャイチツアー参加者募集、各種手続き
- 11月
  - ・ジャイチツアー実施
  - ・今後の運営方針の検討
- 12月
  - ・理事会 令和7年度上半期業務執行状況の報告
  - ・機関紙70号企画・編集

### ◆ネパール

- 7月
  - ・会社解散に伴う清算事務進行中
  - ・ネパール事務所の整理
  - ・政府機関から卒業試験結果報告
- 8月
  - ・学校夏休み
- 9月
  - ・バシファント学校、ブライター学校訪問者案内
- 10月
  - ・ジャイチツアーの受入準備
- 11月
  - ・ジャイチツアーの受入れと案内
  - ・ブライター学校訪問者案内
- 12月
  - ・学校の状況報告

ととなりました。毎年行っていたジャイチツアーも延期をせざるを得なく、しばらくネパールを訪問する機会を失うこととなりました。

漸く渡航が可能になったものの、海外からの観光客の姿は以前のような状況にはなく、ホテルの利用客も目に見えて減っていることを実感しています。

災害や病の流行など、毎年何らかの障害や変化がある中で10年は、当団が支援する学校の公立化が実現。

これからもネパールの人々の手による地域づくりが進められていくことを期待します。



▶修復が進んだ旧王朝宮殿世界遺産



▶空港ロビーも広く明るく衛生的に

## 物故者のお知らせ

ご冥福をお祈りいたしますとともに、これまでのご支援に感謝申し上げます。

井田すみ様 二四年九月

丸尾 信様 二四年十一月

堀内弘栄様 二五年四月

伊藤正裕様 二五年五月

木村 剛様 二五年五月

増澤忠篤様 二五年七月

大畑直暉様 二五年八月

小林展子様 二五年十月

澤田誠二様 二五年十月

島田昌俊様 二五年十一月

中野 京様 二五年十一月

坂脩二様 二五年十二月

愛知県名古屋市長野郡高崎町

## 書き損じハガキを送ってください

### 未使用も歓迎

年賀ハガキの書き損じ・余りなど…(古いものでもかまいません)

切手に交換して通信費に役立させていただきます。昨年度は35,800円分(手数料差引前39,937円)の切手と交換することができました。ありがとうございました。



## 編集後記

今年も年賀状じまいの言葉が添えられたハガキが何通か届きました。

お正月の風習ともいえる年賀状のやりとりは、儀礼的な面も多分にありましたが、なかなか会うことができない友人や知人への近況報告の機会でもあり、添えられたメッセージにその姿を思い浮かべる楽しさもありました。

昨今の年賀状事情は全国的にも年々枚数は減る一方のようです。

SNSなど手軽に情報をやり取りできる社会、また、郵便料金の値上がりなど、理由は様々のようですが、終活のためには、私にはいささか抵抗が…

文字を書くことは脳を活性化させ、ボケ防止につながるとの研究結果を信じて、来年もと思う新年です。

“来年の事を言えば鬼が笑うってか” ひひくん!